

保護者 各位

札幌新陽高等学校  
校長 赤 司 展 子

## 本校の感染症対策に関する基本方針の改定について（お知らせ）

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症について、日々状況は変化しています。この度、変異株による影響やワクチン接種率の向上を受けて、8月26日付けで北海道の「新しい警戒ステージ」が発表されたことに伴い、今年度4月に策定した「新型コロナウイルス感染症に係る対策基本方針」を以下のとおり改定することといたしました。これまで通りの基本的な感染対策は継続しながらも、より一層充実した教育活動を実践してまいりますので、引き続き皆さまのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 【本校における新型コロナウイルス感染症に係る対策基本方針】

札幌市の警戒ステージ	札幌市の状況	授業形態	授業時数	部活動
1	感染者が散発的に発生しており、医療提供体制に大きな支障がない段階	「対面授業」を感染防止に最大限配慮して実施する。	6時間	感染対策をした上で実施する
2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階	ただし、校内で新型コロナ陽性者や濃厚接触者が判明した場合や、市中の感染状況によっては別に定める取扱基準 <sup>(※)</sup> に従ってオンライン授業に切り替える。		
3	感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階	原則「オンライン授業」とするが、希望する生徒には登校を認める。 指定の登校日は市中の感染状況を見ながら、活動の重要性を考慮して慎重に判断する。	オンライン 6時間	全道・全国に直結する大会に限り時間、回数を厳選して実施する (オンラインでの活動は可)
4	爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階			

本校では、文部科学省から示されている「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ～「学校の新しい生活様式」～（2021.4.28 Ver.6）」に基づき、教育活動を展開しております。

【※警戒ステージ1～3におけるオンライン授業の取扱基準について】

(ア) 学級単位

- ・同一の学級において複数の生徒等の感染が判明した場合
- ・感染者が1名であっても、周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる場合
- ・1名の感染者が判明し、学級内に複数の濃厚接触者が存在する（恐れを含む）場合

(イ) 学年・コース単位

- ・同一学年かつ同一コースで複数の学級において(ア)のケースのいずれかが確認され、学年・コース内で感染が広がっている可能性が高い場合
- ・コースが異なる場合であっても、複数のコースにまたがって濃厚接触者が存在する（恐れを含む）場合

(ウ) 学校単位

- ・異なる学年かつコースで複数の学級において(ア)のケースのいずれかが確認され、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合

○その他、保健所の助言等があった場合や市中の感染状況を考慮し校長が必要と判断した場合、学級単位～学校単位でオンライン授業とすることがある。

○オンライン授業の期間は5-10日を目安として状況をみながら判断する。